



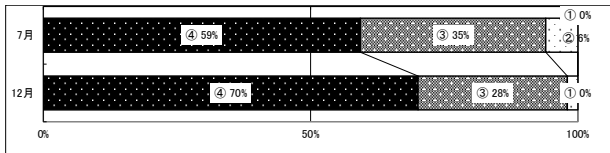
～校訓～ 「立志 善心 叡智」
 ～学校教育目標～ 「学び合い 支え合い 高め合い」
 ホームページ・ブログもご覧ください(随時更新)
<http://www.edu.city.daisen.akita.jp/~ns-nishisenbokutyu1/>

学校評価 (12月実施) 結果を今後の教育活動に生かしてまいります!

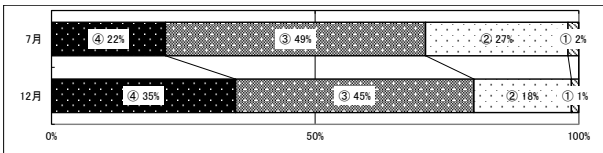
「学校評価」のまとめについては、以前子どもさんを通じ配付しましたが、今回は特筆すべきデータについて紹介します。
 皆様からのご意見等を参考に、これからさらによりよい学校になるべく努力して参りたいと思えます。ご協力ありがとうございました。

※グラフの凡例は、左側から「④そう思う」「③ややそう思う」「②あまりそう思わない」「①そう思わない」となっております。

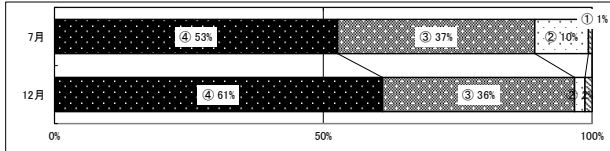
○生徒の評価が7月を上回った項目 1 4 問題行動の早期発見・早期対応



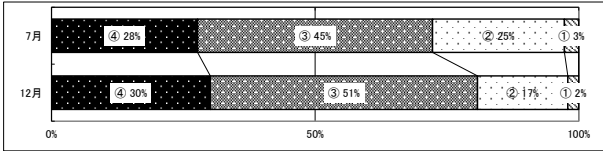
○保護者の評価が7月を上回った項目 4 めあてをもった学習への取組



1 6 校舎や校地の点検・整備



6 適切な食事



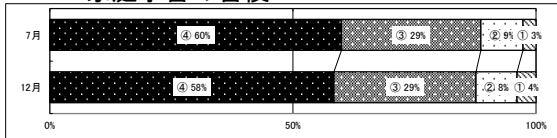
- この他に、以下の項目について、生徒の評価が向上しました。
- 1 明るく積極的な挨拶
 - 2 思いやり
 - 1 3 地域連携

- この他に、以下の項目について、保護者の評価が向上しました。
- 5 家庭学習の習慣
 - 7 体力づくり
 - 1 1 分かりやすい授業
 - 1 3 地域連携

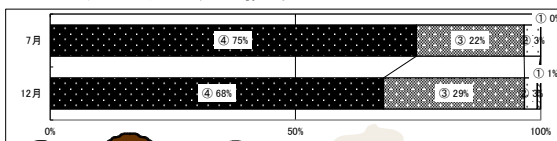
所感

生徒による評価の「1」と「2」は7月も高評価でしたが、今回は、「14」と「16」が大きく伸びた項目となりました。「14」については、日々の生徒との会話や生徒と教師とのノートでのやりとり(「タイムくん」)による情報収集、交換が、早期発見、早期対応につながったと思われる事例もありました。
 保護者の評価では、「4」「5」「11」の学習面、及び「6」「7」の健康面の項目について向上が見られました。いずれも家庭と学校との連携により向上していく項目と考えます。7月のアンケート結果から、各家庭でお声がけがなされてきたおかげと思われます。これからも、共にお子さんの成長に向けて取り組んでいきたいと思えます。ご協力ありがとうございます。

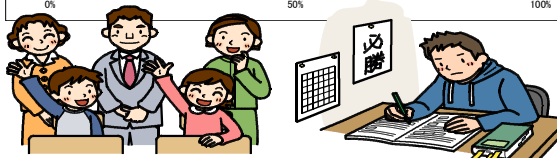
☆生徒の評価が7月より下回った項目 5 家庭学習の習慣



1 1 分かりやすい授業



「5」については、ほとんどの生徒が毎日家庭学習を提出していますが、「まだ習慣化されていない」「何を勉強したらよいかわからない」「家庭学習は無駄ではないか?」との意見もありました。基礎学力定着の意味からも、自分から進んで学習する家庭学習は大切なものだと考えます。学習方法については、模範となる学習方法を紹介するなど、個別に支援していきたいと考えています。
 「11」については、今年度、新型コロナ感染拡大防止のため、これまで本校で行ってきた「学び合い」形式の学習が昨年度に比べ少なくなっていることも影響しているのかもしれませんが、本校では今後とも、学習形態にかかわらず、「分かりやすく」「楽しく」「成就感の味あえる(『今日の授業でこれ分かった、できた』を実感できる)」授業を目指して、授業改善に努めていきたいと考えています。



これからも、家庭と学校が「心寄せ合って」、未来を担う子どもたちを育てていきましょう!

大綱講演会

1・2年生が地域の伝統行事「刈和野の大綱引き」について学びました!

ご存じのとおり、今年度は地域の伝統行事「刈和野の大綱引き」が中止となってしまい、本当に残念です。しかし、地域の中学生としてこの行事を深く知ることなどは大切なことだと考え、今年も恒例の「大綱講演会」を新設された大綱交流館で1・2年生を対象に1月29日(金)に行いました。



講演会には、保存会会長の今野さん、二日町建元の戸島さん、五日町建元の小松さんに来ていただいて、綱引きの長い歴史や綱を作る際の苦労や今後の課題などをお話いただきました。また、綱のミニチュアをもってきていただき、綱と綱が結び合わされる場面も実践していただき、子どもたちも手を取りながら結び目を興味深く見ていました。

講演の後の質問コーナーではたくさんの質問や「建元になりたい!」との意見もあり、この西仙北地域の一員としての意欲的で積極的な思いにうれしくなりました。

来年は、新型コロナも収まって、また勇壮で賑やかな伝統行事に参加できることを楽しみにしています。

給食記念日(学校給食週間)

いつも美味しく栄養いっぱいの給食に感謝して!

給食時の放送でもありましたが、1月25日(月)~29日(金)は「学校給食週間」でした。これは約70年前の1月24日が戦後初めての学校給食再開の日であることを記念したもので、毎年この日を含む週を学校給食週間としています。



この1週間は、大仙市の郷土料理である「大曲納豆汁」「大曲カレー」「めんべい汁」「ひつつみ」「いも煮」「ラ・フランスシロップ」などが出され、いつもの給食以上に秋田県人として盛り上がっていました。

「食」は伸び盛りの中学生にとって一番大切な成長の要素だと思います。普段から美味しく栄養があり、安全な給食を提供して下さっている給食センターの皆さんに感謝いたします。皆さんも、好き嫌いなどせず、毎日の給食を残さず食べましょう。

生徒総会

今年度の反省と来年度に向けた具体的な提案がなされました!

2月1日(月)、今年度の反省と来年度に向けた意見や要望等を話し合う第2回生徒総会が行われました。



総会は、議長の齊藤さん、田村さんの進行で、各専門委員長からの説明の後、たくさんの意見や質問が出されまし。そして、これら各専門委員長の誠意をもつて丁寧な説明する姿が見られました。参加していた3年生の皆さんは、このような堂々とした2年生の姿を見て「西仙北中を任せても大丈夫だな!」という思いを強くしたことでしよう。



会の始まりが少々手間取りましたが、これは執行部の皆さんが、生徒間のソーシャルディスタンスを意識した座席配置に気を配ってくれたことによります。先生方に言われるのではなく、自主的にこのような行動をとれることに成長を感じることができました。

誰かに何かをしてもらうのではなく「生徒会のために自分は何ができるのだろうか」を考えられる西仙北中生に期待します。

国語と保体の校内研究会

みんなが楽しくわかりやすい授業を目指して、先生方もがんばります!

昨日、2年B組で国語、3年B組で保健体育の校内授業研究会が行われました。

2年B組の国語(授業者:柴崎先生)では、「方言と共通語」について、それぞれのもっている役割について話し合いを中心とした授業でした。各グループ同士の発表について、たくさんの人から質問が出されていました。やはり、小グループでの話し合いでは、意見交換がしやすいですね。



3年B組の保体(授業者:津嶋先生)では、「感染症の予防」という単元で、特にこの時間では「性感染症」について学習しました。授業は理科室で行われ、お互いがピーカーに入っている透明な液体を交換し合いながら、感染症の恐ろしさを体感する実験も行われました。



西仙北中では、今後も授業研究会を行い、子どもたちにもっと分かりやすく、達成感を味わわせるような授業の改善に努めていきたいと思ひます。